

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
大原法律公務員専門学校静岡校	平成7年3月27日	大石健二	〒420-0821 静岡市葵区柚木103-1 (電話) 054-264-3284			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人名古屋大原学園	昭和57年9月28日	村松紳年	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-20-8 (電話) 052-582-7733			
目 的	本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、企業において必要とされる法律事務に関する専門能力を身につけた人材の育成を行うことを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化教養	文化教養専門課程	公務員科県庁・市役所コース	2年(昼)	2160単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学省告示第24号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,340単位時間 (又は単位)	280単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	480単位時間 (又は単位)	60単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人の内数	45人	8人	0人	8人		
学期制度	■1学期：4月1日～8月31日 ■2学期：9月1日～12月31日 ■3学期：1月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有)無 ■成績評価の基準・方法について 出席状況・授業態度・期末試験・検定試験等の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月9日～8月21日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	卒業(進級)審査会において出席状況・履修科目評価・資格取得状況・学納金納付状況等を総合的に勘案して決定する。	
生徒指導	■クラス担任制(有)無 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席日数に応じ、担任・教務責任者・保護者・校長の面接を実施。			課外活動	■課外活動の種類 スポーツフェスティバル参加 ■サークル活動(有)無	
就職等の状況	■主な就職先、地方公務員等 ■就職率 ^{※1} 78.6% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 78.6%			主な資格・検定	漢字検定	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 6.7%</p> <p>平成28年4月1日在学者 33名 (平成28年4月入学者を含む) 平成29年3月31日在学者 31名 (平成29年3月卒業生を含む) ※1年制へのコース変更 1名</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更 1名 体調不良 1名 経済的理由 名 学校不適応 名</p> <p>■中退防止のための取組 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長（又は校長）を交えて面談を行い、本人の進路希望の聞き取りや保護者の方針、さらに本人の適性等について話し合う場を設ける。経済的理由による退学希望者は学生支援機構や提携ローンの紹介等の学生支援を行っている。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.ohara.ac.jp/shizuoka/</p>

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

法律関係の公的団体や地域企業等と連携し、業界全体の動向や実務に関する最新の知識・技術等を反映するために、定期的に教育課程編成委員会を実施しご意見を頂戴するとともに、長期的視点によりカリキュラムの充実を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
月見里 和夫	静岡県行政書士会 副会長
大村 有希	自衛隊静岡地方協力本部
大石 健二	大原法律公務員専門学校静岡校 校長
望月 覚	大原法律公務員専門学校静岡校 科長
石田 俊一	大原法律公務員専門学校静岡校 科長
小池 綾子	大原法律公務員専門学校静岡校 主任

(開催日時)

第1回 平成28年10月31日(月) 16:00~17:00

第2回 平成29年 2月28日(火) 16:00~17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

公務員を志す学生に現場での仕事を見学・体験をさせること。それにより、公務員の仕事とはどのようなものかを理解する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
教養演習	公務員を志す学生に現場での仕事を見学・体験をさせること。 それにより、公務員の仕事とはどのようなものかを理解する。	防衛省 自衛隊静岡地方協力本部

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園就業規則第39条(教育)に、「教職員は、法人が必要と認める教育又は研修を受けなければならない。」(抜粋)と規定されており、この規定に基づき、教員が担当する分野の実務研修や学生への指導力向上のための研修を毎年継続的に受講させる方針である。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
谷口 幹也	社会保険労務士法人 浜松共済 特定社会保険労務士
森 祐輔	あおい税理士法人 所長
首藤 祐希	有限会社首藤商会 マネージング・ディレクター
河西 条司	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 ホテルラフォーレ修善寺 管理課 課長
佐舗 敬司	株式会社 スギヤマ・コーポレーション 執行役員 人材育成CS推進室 室長
大橋 涼太	医療法人社団 静産会 理事長
森田 洋正	ナガハシ印刷株式会社 本部長
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長
神保 登美子	公益社団法人 全日本不動産協会静岡県本部 事務局長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ohara.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ohara.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程公務員科県庁・市役所コース) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			政治	政治の基本知識を学習し、変化する社会問題を考え、視野を広げることを狙いとする。	1 ① 2 2 ①	120		○		
○			経済・社会	経済・社会の基本知識を学習し、変化する社会問題を考え、視野を広げることを狙いとする。	1 ③ 2 ①	120		○		
○			歴史Ⅱ(日本史)	社会が、いつ、なぜ、どのように変わってきたのか、歴史のターニングポイントに重点を置く。特に政治・経済・文化や人々の暮らしなど多様な側面から各時代の社会のあり方の特質を考える。	1 ① ② 2 ①	120		○		
○			歴史Ⅰ(西洋史・中国史)	世界を歴史から考え、幅広い教養を培い、社会問題を分析する視点を整える。	1 ① ② 2 ①	120		○		
○			地理	世界を地理から考え、幅広い教養を培い、社会問題を分析する視点を整える。	1 ① ② 2 ①	60		○		
○			倫理	ビジネス実務の基本とコンプライアンスの基礎を学習する。	1 ③ 2 ①	60		○		
○			文章理解	短時間に正確に内容を把握するための力を養うとともに、抽象的な用語や熟語の理解を深める。	1 ① ② 2 ①	100		○		
○			国語	基礎的な国語を学ぶことにより、読解力や表現力を養うことを狙いとする。	1 ③ 2 ①	60		○		
○			物理	物理の基本知識を学習し、自然や科学を理解する視野を広げることを狙いとする。	1 ③ 2 ①	60		○		
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(文化教養専門課程公務員科県庁・市役所コース) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			化学	化学の基本知識を学習し、自然や科学を理解する視野を広げることを狙いとする。	1① 2② 2①	60		○		
○			生物	生物の基本知識を学習し、自然や人間を理解する視野を広げることを狙いとする。	1① 2② 2①	60		○		
○			地学	地学の基本知識を学習し、地球や宇宙を理解する視野を広げることを狙いとする。	1③ 2② 2①	60		○		
○			数学Ⅰ(判断推理)	判断力、推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高め、正確なデータ整理と分析枠組みを習得する。	1① 2② 3③ 2①	160		○		
○			数学Ⅱ(数的推理)	基礎的な数学力を利用し、効率的にデータの分析を行える能力を習得する。	1① 2② 3③ 2①	160		○		
○			教養演習	ビジネスに必要な一般教養知識を養うことと、外部講師による指導も受けることにより幅広い知識を習得する。	1① 2② 3③ 2①	280		○	○	
○			論作文	社会人に求められる文章力・表現力をトレーニングする。	1① 2② 2①	80		○		
○			ビジネス実習	社会人に求められるビジネスマナーを身に付けることを目的とする。PC操作、書類作成、プレゼンテーション技術等を学ぶ。	2② 2③	480		○		○
合計					17科目	2160単位時間				